

日時：平成25年6月6日（木）14：00～14：45

場所：市役所第7会議室

出席者：市長、副市長、教育長、企画部長、(株)バリューブックス代表取締役中村大樹、
都市計画課長

取材者：岩手朝日テレビ、岩手放送、テレビ岩手、NHK、岩手めんこいテレビ、共同通信、
日本経済新聞、毎日新聞、東海新報、朝日新聞、河北新報、岩手日報、三陸経済新聞、
読売新聞

市長挨拶

平成25年度第1回の定例記者会見ということで、皆様にお集まりいただきました。日頃より本市の情報発信をしていただき、また、ご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。

(1) 平成25年第2回定例会について

会期は6月7日金曜日から6月20日木曜日までの14日間の会期が予定されている。

一般質問の通告件数は9人の議員さんから通告をいただいている。

提出案件について説明します。

報告第1号から第7号までは、繰越明許費に係る計算書であります。

報告第1号についてであります。繰越を行う事業は40事業で、繰越総額は、約207億円です。

次に報告第2号についてであります。下水道事業特別会計の繰越で3事業、繰越額は約16億円です。

次に報告第3号についてであります。農業集落排水施設災害復旧事業の繰越で、繰越額は約1122万円です。

次に報告第4号、一般会計の事故繰越を行う10事業で、年度内納品、完了が困難なもの、作業員不足による工期遅延が生じたもので、総額約40億円となっております。

次に報告第5号についてであります。下水道施設災害復旧事業の事故繰越です。入札不調によるもので、繰越額は約4700万となっております。

次に報告第6号についてであります。農業集落排水事業の事故繰越です。資材調達困難

により年内完了が出来なかったもので、繰越額は約 5200 万円であります。

次に報告第 7 号であります、水道事業会計の繰越で、繰越額は 1800 万円であります。

続きまして議案第 1 号から第 3 号までは専決処分によるものでございます。

まず議案第 1 号と議案第 2 号は、平成 24 年度一般会計補正予算及び下水道特別会計補正予算の専決処分についてであり、復興交付金等の基金積立金行うものが主なもので、予算執行上急施を要したため専決するものであります。

次に議案第 3 号は職員定数条例の一部を改正する条例の専決処分についてであり、東日本大震災による復旧復興事務を処理するため職員数の増員に伴い改正でございます。

次に議案第 4 号 市道路線の認定についてであります。

これは林道荒川山谷線 (L=1514m) を市道として認定しようとするものであります。

次に議案第 5 号 町及び字の区域変更についてであります。

これは、高田町、竹駒町の境界で工事を行っている高田西地区復興整備事業地区の町及び字の区域を変更しようとするものでございます。

次に議案第 6 号 防災集団移転促進事業 双六住宅団地 整備工事及び 双六住宅団地 防災集団移転 関連道路整備工事の請負契約締結についてであります。

気仙町字双六地区内の団地造成工事で、面積 9,549 m²、造成区画数 1 1 戸を整備しようとするものです。関連道路整備工事につきましては、同地区内の道路 191m を整備するものでございます。

次に議案第 7 号 陸前高田市定住促進住宅条例を廃止する条例であります。

これは東日本大震災で被災した同施設の条例を廃止するものでございます。

次に議案第 8 号 陸前高田市市税条例の一部を改正する条例についてであります。

これは地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、改正をするものでございます。

次に議案第 9 号 東日本大震災の被害者に対する市税の減免に関する条例の一部を改正する条例でございます。

これは、平成 25 年度においても減免を引き続き行うため、所要の改正をしようとするものであります。

次に議案第 10 号 陸前高田市乳幼児、児童、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例であります。

これは、9 歳に達する年度末までの児童を対象とした医療給付事業について、その対象を 12 歳に達する年度末までの児童に拡大するものであります。

次に議案第 11 号から 15 号までは平成 25 年度補正予算(第 1 号)に係る議案であります。

まず、議案第 11 号 一般会計補正予算についてですが、歳入歳出予算に 141 億 2337 万 7000 円を追加し、予算の総額を 1160 億 4037 万 7000 円とするものであります。

主なものとしたしましては、医療費の無料化を小学 3 年生から 6 年生に拡大することに伴う医療費扶助費等の増額 7 8 0 万円。

高田地区土地区画整理事業及び今泉地区土地区画整理事業費と区域内の埋設物撤去に係る委託料及び移転補償 13 億 7930 万 4000 円。

新たに設ける住宅再建に向けた支援制度で、区画整理地内等住宅再建支援事業費に 7 億 6000 万円、大震災により滅失した住居を再建する市街居住者への補助である、被災関連定住再建支援事業費に 300 万円。

災害公営住宅整備事業として 4 カ所(下和野、水上、大野、田端)の用地費 53 億 7029 万 8000 円となっております。

次に議案第 12 号から、議案第 15 号までは下水道事業特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の補正予算であります。説明は割愛させていただきます。

【質疑】

質問) 医療費の補助について、小学校 6 年生までの拡大ということだが、その狙いを伺いたい。

市長) まちづくりのコンセプトとして「子育てがしやすいまちづくり」を目指したいということは表明している。一気にすべてをできないので、さしあたってこの補助からやっていきたい。子どもは減少を食い止め、交流人口を増やしていく狙いのまずは第 1 弾としてこれをやっていきたいと思っている。

質問) 先ほどの関連で、人数はどのくらいが対象となっているのか。

教育長) 対象人数は 6 年生までで、9 0 0 人強となります。

(2) 奇跡の一本松保存事業について

「奇跡の一本松」保存事業完成式については下記のとおり

○日時 平成 25 年 7 月 3 日(水) 午前 9 時 30 分から

○場所 「奇跡の一本松」周辺(予定)

※完成式の様子は、少し離れた場所から一般見学者も見ることが可能。

「奇跡の一本松」のライトアップについて

○期間 平成 25 年 7 月 3 日（水）から 1 年間程度

○時間 日没から午後 9 時頃まで（予定）

※ライトアップは天候により行わない日もあります。

※このライトアップは、岩手県電気工事業工業組合青年部、及びパナソニック株式会社の支援によるもの。

「奇跡の一本松」展の開催について

これまでに全国から寄せられた奇跡の一本松に係る絵画や書を展示するもの。

○日程 平成 25 年 8 月 3 日（土）、4 日（日）（予定）

○場所 陸前高田市役所（予定）

奇跡の一本松保存募金 募金額（6 月 1 日現在）

○件数 3,225 件

○募金額 139,079,713 円

【質疑】

質問) ライトアップに至った経緯を教えてください

都市計画課長) 電気工事組合の周年事業の一環として、お手伝いが出来ないかと問い合わせがあった。

質問) ライトは LED ですか

都市計画課長) LED ともう 1 種類のライトを使用する予定です。

質問) 時間が夜九時ころまでとなっているが、一本松までの道路は何も措置をしないのか？

市長) 誘導路につきましては、別団体様からライトアップをしたいと申し入れがあっているが、現在調整中である。

質問) 一本松は市民にとってどんな場所になっていると考えか。

市長) 一本松はシンボリックなものである。あの一本松を見て奇跡の復活を信じて進むことが出来た。これから復興までは時間がかかるが、それまでの皆さんの心の支えになるものと考えている。

質問) 募金額 1 1 カ月でこの金額及び件数についてのお気持ちは。また、目標額を達したら募金を一回区切るなどの考えがあるのか。

市長) この募金については、出来るだけ広く皆様方に参加いただきたいということを考えてやってきた。たくさんの方が参加いただくことが風化を防ぐことになると考えている。そういう意味ではこれまで多くの方にご参加いただいた。ここに出ている件数は振込などでわか

る数で、募金箱に投入いただいた数までは分からないが、多くの方にご参加いただいたもの
と思っている。

また、1億5千万円というのは一つの目標額ですが、これは一本松の保存に係る費用であ
り、今後も維持管理という意味では費用が掛かるとしている。ただ、いつまでもやるつも
りはないが、当面の維持管理などを算出していきたい。

質問) 1億5千万円の超えた募金の使い道は

市長) 一本松の保存、維持が目的の募金であるので、維持管理費用に使わせていただきたい。

質問) ライトアップの電気代はどこで出すのか

企画部長) ライトアップは支援者で出していただく

質問) 献花台はあるが花屋がないという意見がある

市長) 来ていただく方の利便を考えていきたい。

(3) 「高齢者の見守り活動に関する協力協定」の締結 について

1 協定の目的

陸前高田市といわて生協が、連携して「高齢者の見守り活動」を行うことにより、ひとり
暮らしの高齢者等の孤立死を防止し、高齢者が安心して自立した生活を営めるよう支援する
ことを目的。

2 いわて生協の協力内容

生協及び生協が出資する法人が行う共同購入配達、通常の配達業務全般(以下「配達業務」
という。)において、高齢者宅等への訪問の際、生協が訪問先で以下の異変等を発見したと
きは、その状況等を総合的に判断した上で、必要と思われる場合には陸前高田市地域包括支
援センターへ連絡します。なお、倒れている人を発見した場合など緊急性を要する場合には、
生協の配達員が、救急車の手配や警察へ連絡します。

(1)前回の配達商品がそのままになっているとき。

(2)配達時はいつも玄関に出てくるのに、玄関が未施錠で呼び出しても応答がないとき。

(3)郵便受けに新聞や郵便物がたまっているとき。

(4)日中にもかかわらず外灯が点灯されたままであったり、日没後でもカーテンが閉められて
なく、人影も確認できないとき。

(5)頻繁に罵声が聞こえたり、物を投げる音がするなど、虐待を受けているおそれがあるとき。

(6)その他、異変等が発生していると推測できる状況のとき。

3 対象者

見守り活動の対象者は、生協が行っている配達業務を利用している65歳以上のひとり暮
らし高齢者及び65歳以上の高齢者のみで構成される世帯とします。

4 協定施行日

平成25年6月1日 (締結日：平成25年5月23日)

【質疑】 無

(4) 一般社団法人日本野球機構・株式会社楽天野球団による野球教室及び灯光器贈呈式の開催について

日 程 平成25年7月7日(日)

9:30 野球教室

12:30 贈呈式(灯光器12台)

会 場 旧小友中学校 グラウンド

参加料 無料

講 師 日本野球機構OB(5~6名) 楽天ジュニアコーチ(2名)

2011年の東日本大震災により甚大な被害を受けた陸前高田市。現在、小学校の校庭や野球場などの運動場には、仮設住宅が建設され、野球をはじめスポーツを行う環境がない状況が依然として続いている。そこで、プロ野球12球団、一般社団法人日本野球機構は被災地からの要望に応える形で、陸前高田市野球協会、陸前高田市には灯光器12台を寄贈するとともに、野球教室を開催し、子供たちに野球を続ける環境と、野球の楽しさを知ってもらうための「物心両面」でお役にたてればという主旨のもとこの事業を行うこととなった。金額ベースでは980万円強

【質疑】 無

(5) 6~7月行事予定

日時	行事	会場	概要
6月7日(金)	陸前高田オリジナル米「たかたのゆめ」田植え	米崎町内	8:30~
6月10日(月)	陸前高田市金婚祝賀会 (矢作、横田、竹駒、気仙地区対象)	米崎地区コミセン	11:00~
6月11日(火)	陸前高田市金婚祝賀会 (高田、米崎、小友、広田地区対象)	米崎地区コミセン	11:00~
6月11日(火)	第65回岩手県民体育大会出場選手結団式	4号棟第6会議室	19:00~
6月12日(水)	第3回「市長に聞きたい!私たちが思う陸前高田!」	陸前高田まちづくり協働センター	19:00~

7月3日(水)	奇跡の一本松完成式	奇跡の一本松周辺	9:30~
7月7日(日)	2013年 東日本大震災復興支援事業「贈呈式」「野球教室」	旧小友中学校グラウンド	9:30~野球教室 12:30~贈呈式
7月9日(火)	二又復興交流センター開所式	二又復興交流センター	13:30~

【質疑】 無

その他

陸前高田市図書館ゆめプロジェクトについて

バリューブックス中村社長より説明

昨年6月から行った陸前高田市ゆめプロジェクトの報告
 総冊数約80万冊、寄付金額で約1370万円。内、個人から4932件、約60万冊、約1千万円の寄付をいただいた。また、寄付者年齢は10歳から91歳までと幅広くご参加いただいた。また、全国すべての都道府県から、個人または団体様のご参加をいただいた。今後ともご協力をお願いしたい。

市長) バリューブックス様はじめご参加いただいた皆様に感謝申し上げたい。青年市長や、友好自治体さんなど幅広くご参加いただいている。今後も継続的にやっていただけるものと期待している。私どもはこの思いに対する「ありがとう」の気持ちをどのような形でお示ししたいと思っている。

【質疑】

質問) 募金額を寄付する時期は決まっているのか。

バリュー) 毎月市の口座に振り込んでいる

質問) これまでの周知方法を教えてほしい。

バリュー) 独自のホームページやフェイスブックページを立ち上げて周知を図った。特にフェイスブックからホームページへの誘導が多く見られた。

質問) 市に伺いたいですが、新しい図書館の建設の見込みはどのようになっているか。

教育長) 新しい図書館は市民文化会館と博物館との複合施設として考えている。時期については未定である。場所は街の中心地と思っている。

市長) 今教育長から報告があったが、まちづくり全体として私のほうからも話させていた

きたい。実は先日、佐賀県武雄図書館の運営で最近有名な CCC（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）に武雄市長も同席をいただき、伺わせていただいた。現在のところ複合施設となっているが、話を聞く中で複合施設ぐらゐすべてにおいて中途半端なものはないと言われた。

これから図書館のまちづくりにおける役割を再度考えていかなければならない。ただ、子供たちに本を読ませればよいという考えではいけないと感じた。せつかく新設するのであれば、市民の皆さんの意見などを伺いながら、より良いものを未来に向かって子どもたちが夢を持てるものを作りたいと思う。

質問) 場所は市街地という考えか

市長) 現在の予定では市街地と考えている

【その他の質疑】

質問) 市役所の位置に関するアンケートが5月末で締め切られたが、その内容を教えていただきたい。

市長) 現在精査中であるが、回収率については約44%と聞いている。明日までに集約し、議会で報告したいと思っている。